

第13回

(通算3559回) 例会
令和5年10月5日
例会場: ホテルアークリッシュ豊橋

「学校における金融教育」と 「社会人の学ぶ必要性について」

プログラム委員会 担当



2023-24 RI テーマ・世界に希望を生み出そう

10月 地域社会の経済発展月間



青木 良浩
プログラム委員長

池田 勝年 会員

福井 敬 会長

会長挨拶

福井 敬 会長

皆さまは「バイオメティクス」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。バイオメティクスとは生物の構造や機能、生産プロセスを観察・分析し、そこから着想を得て新しい技術の開発や、ものづくりに活かす科学技術という意味だそうです。生物の真似をして技術を作り出すという発想は古くから存在しており、19世紀には木造船に穴を開けるフナクイムシに着着想を得て、崩落を防ぎながらトンネルを掘り進める「シールド工法」を思いついた話は、業界ではかなり有名です。また、洋服に付く植物の種子からは「マジックテープ」で知られる面ファスナーが開発されました。新幹線にもバイオメティクスが活用されています。初期の新幹線は丸いフォルムでしたが、スピードが上がるにつれてトンネルを通過する時の大きな音や衝撃が問題となっていました。その対策として研究者が注目したのが、カワセミです。カワセミは空中を高速で飛び、水の中に飛び込んで魚や昆虫を捕食します。その時空気中と水中では1000倍もの抵抗差が生じますが、水しぶきが極めて少ないのです。これはカワセミの鋭いくちばしが、水の抵抗を最も小さくする形状だったためです。新幹線はカワセミのくちばしに似た形状を取り入れることで、トンネルを通過する際の問題を解決することが出来ました。この様に私たちの生活には、自然の世界から学び、役立っているものが多くあります。人間も自然の一部だということを謙虚な気持ちで納得し、自然から学ぶ姿勢を大切にしたいと思います。

趣旨説明

青木 良浩 プログラム委員長

最近新聞等では、お金の使い方について子どもの時から学ばせなければいけないのではないかとされています。宝島社（出版社）が昔、世相や世の中の考え方をユニークな視点から切り出す『別冊宝島』という雑誌を出版していました。ある時、その宝島社が新聞に出した意見広告で「少子化社会とはある意味、子ども

も一人あたりにお年玉を渡す大人の人数が多くなる社会のことを指す。そこで子どもに渡されたお年玉の50%を福祉年金等に回すことにする。バイトをして自分の力でお金を稼ぐ喜びを学んだ方が子ども達の身になる」というものがありました。極論ですが、これもマネー管理や資産管理の一面ではないかと思えます。これはふざけた話でしたが、本日は池田会員から理論的に様々な視野から説明していただけたと思います。

「学校における金融教育」と「社会人の学ぶ必要性について」

池田 勝年 会員（みずほ証券 豊橋支店長）

高校の学習指導要領の改定に伴い、授業では金融の取り扱いが拡充されてきています。例えば、家計や金融の働き、株式、債券、投資信託、年金生活への備え等の内容になります。そもそも学校で金融の取り扱いが増えた背景には「人生100年時代」があります。人々の生き方は多様化しており、社会の変化は速く不確実性も高まっています。先人の生き方に倣えば良い時代から、自分で選択して備える時代となり、お金の知識は欠かせません。投資を行う、行わないに関わらず金融について学んでおくことは、将来の選択肢を狭くしないためにも重要だと思われれます。また、金融教育も大事ですが、他にも主権者教育や、法教育、知的財産教育等学ぶべきものがたくさんあります。時間やリソースが限られる中、学校内部で全て対応するのは難しいと思われれます。

これらの課題に対し、どう対応すべきかということで、当社の取り組みをお話させていただきます。当社は、金融機関の社会的責任において金融教育を支援することが重要と考えています。しかし、ただ支援するだけでなく、学校の現状を踏まえ、学校が受け入れやすい金融教育を目指しています。当社の活動は大きく3つの特徴があります。1つ目は、学校のニーズに応じてオンライン、動画など様々なツールを提供しています。2つ目は、金融教育を、社会科など一つの教科だけで

なく他教科と横断したり、消費者教育やキャリア教育等の重要なテーマと融合して行うことで、学校側がカリキュラム上受入れやすい形で教育支援を行っています。3つ目は、専門家との連携です。金融教育を、金融機関だけの目線にならないように教育の専門家や学校現場の先生から指導をいただきながら行っています。

ここまで「学校における金融教育」について背景や課題、対応をお話させていただきましたが、ここからは「社会人の学ぶ必要性」についてお話させていただきます。昨年の学習指導要領の改訂で、これまでにないほど資産形成への関心が高まっているのは、子どもたちよりも、学校でお金について学んでこなかった大学生や社会人の世代です。

国はこれまで個人が将来に備えるための資産形成制度を整えてきました。特に「iDeCo」と「つみたてNISA」は多くの方がご利用出来る制度です。iDeCoは、税制面でのメリットが大きく、老後の備えを目的に行うものなので原則60歳まで引き出せません。一方つみたてNISAは、税制面では運用益が非課税になるだけですが、年齢による縛りがなく様々な目的で蓄えることが可能です。NISAは来年から大幅に拡充されることになりました。新NISA制度の主なポイントは、非課税枠の大幅な拡大と制度の恒久化です。これにより、人生100年時代にふさわしい制度となりました。また、生涯に渡る非課税限度額の設定で、本格的な資産形成制度となったと思われます。長期間運用することが促されると共に、仮に相応の収益が得られた場合、その恩恵は大きくなることもあり、利用した人と、そうでない人に差が生まれる可能性があります。

新NISA制度を利用する、しないに関わらず、金融について学んでおくことは将来の選択肢を広げるためにも重要です。長い人生どうありたいのか、先人に倣うより自分で選択して備える時代です。そのために家計管理をどう行うか、そして長期にお金を備えるために、お金を取り巻く環境への理解も必要だと思えます。過去と比べると預けるだけでは増えない時代です。また、物価の上昇も考慮する必要があります。将来のインフレに備え、株式や株式型投資信託などの物価上昇に強い資産に資金の一部を置いておくことは資産価値の目減りを防ぐために必要かも知れません。

投資する上では、分散投資、長期投資、積立投資が基本となります。また、市況が悪化している時に投資を止めてしまっただけでは次の景気回復時に資産は増えません。価格の変動に一喜一憂することなく、積立や分散投資を長期間続けることが大切です。

昨年から事業法人や学校法人、自治体の方の「金融について学びたい」「社員に学ばせたい」というお声が多く聞かれます。ご質問やご相談等ございましたら、お気軽にお申しつけください。みずほ証券は地域の皆さまに知識をつけるお手伝いをさせていただきますので、今後とも是非よろしく願います。

ニコニコBOX

青木 公貞 ニコニコ委員

- 池田会員の卓話、とても楽しみにしています
福井 敬 会長 伊藤 晴康 幹事
- 本日の例会で卓話をさせていただきます。どうぞよろしく願います
池田 勝年 会員
- 池田勝年会員の卓話、楽しみにしています。長時間ですが、がんばってくださいね
伊藤 健一 クラブ運営委員長
- 高須会員、Weeklyを熟読していただき、ありがとうございました
野寄 誠三 クラブ会報委員長
- 10月2日(月)肌寒く強風の中、蒲郡RC70周年記念ゴルフコンペに、福井会長はじめ、宮田正人会員、佐々木利政会員、岩瀬清会員、井上泰宏会員の5名が参加しました。入賞者は、10位佐々木利政会員、15位岩瀬清会員です。おめでとうございます。お疲れ様でした
蒲郡RC70周年記念ゴルフ参加者一同
- 「豊橋美術博物館友の会」が、豊橋文化奨励賞を受賞いたしました。豊橋RCの皆様にも賛助会員としてご協力いただいています。ありがとうございました
宮田 正人 会員
- ニコニコボックスの発表を担当させていただきます
青木 公貞 会員 (順不同)

幹事報告

伊藤 晴康 幹事

1. 直前ガバナー事務所閉鎖のお知らせが届いています。
2. 例会終了後に4階グリーンルームにて理事会を開催します。

本日のゲスト

米山奨学生 ブレンテグシ エンフバヤスガラン 君

歌

ソングリーダー 久保田 充三 会員



「君が代」
「R-O-T-A-R-Y」

誕生祝い



清水 良彦 会員
(S.13年10月11日生)



平林 智子 さん
(9月29日生)

出席報告

杉田 洋 出席委員長

当日出席者 75名 計算会員数 98名中23名欠席
総会員数 112名 出席率 78.95%

例会予定

- 10月12日(木) 卓話「豊橋技科大ロボコンチームABUロボコン優勝報告」
- 10月19日(木) 卓話「米山記念奨学事業について」